



天高育友会報
 平成30年7月20日発行
 発行 県立天草高等学校育友会
 編集 天高育友会文化広報委員会
 印刷 ワタナベデザイン

平成30年4月9日(月)に行われた、全日
 制課程第73回入学式。男子106人、
 女子132人、計238人の新入生が入
 学しました。
 昨年度、スーパーサイエンスハイスク
 ール(SSH)指定校となり、新たな一歩を
 踏み出しています。



初めて顔を合わせる ホームルーム

入学式総代 藤野萌永(1年6組)

1学期を振り返って

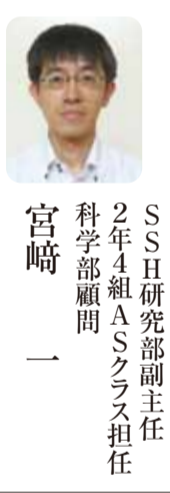


1年4組
 松原丈太郎

この1学期は、分らないことや戸惑う
 ことも多く、あつという間に過ぎていきま
 した。そんな1学期を振り返って一番心に
 残っているのは、体育大会です。僕が驚いた
 のは、2、3年生の先輩方の気合いの入り
 様です。応援団練習の時には、前に立つ人
 文字リーダーや応援団の方たちだけでな
 く、団席に座っている先輩方も全員が本気
 で取り組まれていることが伝わってきて、
 天高生ってすごいなと感じました。マス
 ゲームなど、みんなで楽しむところは思
 いっ切り楽しみ、きちんとしなければなら
 ない所はきちんとするといったメリハリの
 ある先輩方の姿を見て、自分も卒業まで
 こんな風になりたいと思いました。

1学期の反省をすべき所は、勉強面
 で。僕は、高校に入ってから中学生の頃と
 同じような気持ちで勉強をしていました。
 友達への勉強への姿勢を見て、これからは
 もっと高校生らしく勉強を頑張ろうと思
 いました。夏休みは時間が沢山あります。
 計画をしっかり立ててそれをもとに勉強を
 頑張ろうと思います。

**SSH
 二年目の取り組み**



SSH研究部副主任
 2年4組ASCクラス担任
 科学部顧問
 宮崎 一

SSHは本年度二年目となりました。本
 年度の新たな取り組みは、①A S
 (Amakusa Science) クラスの新設、②A
 S II (課題研究) や数科学探究の開講、③
 海外や関西への研修旅行の実施がありま
 す。①のASCクラスは希望者によって構成
 されたSSH活動に特化したクラスです。
 毎週行われるAS IIではグループを作り、
 毎回来る研究活動を行っています。ま
 た、ASCクラスは関西研修や海外研修も
 行われます。研修先として、関西は大阪大
 学や神戸の理化学研究所、海外はマレーシ
 アを予定しています。

まずは自分が楽しもう



育友会会長
 植田 伸広

本年度、育友会会長を務めさせていただ
 きます植田と申します。
 さて、新年度が始まり3ヶ月が過ぎまし
 た。期待と不安の中に入学した1年生も学
 校生活に慣れ、2年生は部活動や生徒会
 学校の中心となるスタートを切っていま
 す。そして3年生はいよいよ進路選択が目
 前に迫り、それぞれ、夢と希望を抱きなが
 ら毎日過ごしているのではないかとと思
 います。
 そんな皆さんに、バンダイナムコエンター
 テイメントという会社で、社員の心構えと
 して掲げられている5つの言葉を紹介した
 と思います。

- ① まずは自分が楽しもう
- ② その一歩を踏み出そう
- ③ 思考の枠を広げよう
- ④ 今の自分を超越して行こう
- ⑤ 感謝の気持ちを忘れずに

この言葉を聞いたとき、皆さんが高校生
 活を送る上で、ピッタリの言葉だなと感じ
 ました。皆さんも自分の生活に置き換えて
 みてください。
 4月から、新しい仲間や先輩、先生方と
 の生活が始まりました。まずは自分が楽し
 んでください。次に、日々、訪れる新たな出
 来事に向かってチャレンジするために、その
 一歩を踏み出してください。その結果、上手
 いかないこともあると思います。そんな
 時は、思考の枠を広げてください。このよう
 な生活を毎日、毎日、一歩ずつ積み重ねなが
 ら、今の自分を超越してください。そんな皆さ
 んを応援しているすべての人に対して、感
 謝の気持ちを忘れずにください。そして、
 皆さんが卒業を迎えるとき「天高に来てよ
 かった」という言葉が心から溢れ、天高に
 通ったことを、誇りに出来ることを期待し
 ています。
 最後に、子ども達の健全な成長と目標
 達成には、保護者の皆様、先生方のご協力
 は欠かせません。お互いに連携を取りなが
 ら、一丸となって歩んでいきましょう。1年
 間よろしくお祈りします。

天草高校



校長
 平田 浩一

40年の時を経て過ごす天高は、純粹で熱
 くほろ苦い思い出が詰まった校舎のままで
 した。しかし、その姿は変わらないものの年
 月を重ねた天高は、伝統の継承と進化のも
 と実績が幾重にも凝縮されその重みと存
 在感を増していました。
 伝統の重みと進化を感じたのは校舎だ
 けではなく、生徒の姿そのものです。さわや
 かなあいさつと笑顔、集会活動での整然と
 した姿、授業中の真剣な眼差し、部活動に
 直向きに取り組む生徒の姿があります。ま
 た、寸暇を惜しみ教科書を手にする姿、廊
 下や職員室前で教師に質問する姿、生徒
 会役員選挙に自分のことより他人のこと
 を考え立候補し学校活性化を熱く語る生
 徒など、文武両道、質実剛健で凛とした天
 高生の姿はまさに「正大、剛健、寛厚」を具
 現化した姿です。三綱領を意識することな
 り、ただ面白おかしく高校生活を送ってい
 た自分はずかしげばかりです。120有
 余年の歴史と3万1千人を超える先輩方
 の活躍が天高の誇りとなり、校風をつくり
 生徒を育てているのです。
 生徒の育ちを支えているものに、育友
 会、同窓会、地域の方々の天高に対する期
 待と協力があります。教育熱心で献身的に
 学校を支援していただく育友会、母校愛に
 あふれ絆を感じる同窓会、学校を大切に
 思っていたらいている地域の方々の存在で
 す。天高はまさに天草の地にある天高なの
 です。また、地域の期待に応え、教職員とし
 ての誇りと情熱で生徒の可能性を引き出
 す教育を営々と重ねてきた先達の先生方
 の努力が信頼を得ているのです。
 天高の存在意義、それは天草の地にあつ
 て、凶雨の志をもつ天草の人づくりだと考
 えます。やがて鵬となり、世界に羽ばたく
 雛鵬が希望に燃え、求志成の精神で自己
 を高めていくことであると考えます。本校
 の伝統を継承しつつ、文部科学省指定のS
 SH(スーパーサイエンス)などの新たな取
 り組みを展開しながら、次の一歩を踏み出
 していきたく思います。今後とも御理解・
 御支援よろしくお祈り申し上げます。